特許協力条約

発信人 日本国特許庁(国際調査機関)

代理人 西教 圭一郎 様 あて名 〒541-0051 日本国大阪府大阪市中央区備後町3丁目2番6号 敷島ビル

PCT 国際調査機関の見解書 (法施行規則第40条の2) [PCT規則43の2.1]

今後の手続きについては、下記2を参照すること。

発送日 (日.月.年)

24. 5. 2005

出願人又は代理人

国際出願番号

の書類記号 62199CT

国際出願日

(日.月.年) 28. 03. 2005 優先日

(日.月.年) 29.03.2004

国際特許分類 (IPC) IntCl. H01L21/304

PCT/JP2005/005769

出願人 (氏名又は名称) ニッタ・ハース株式会社

SAIKYO

1. この見解書は次の内容を含む。

第1欄 見解の基礎

第Ⅱ欄 優先権

第皿欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成

第IV欄 発明の単一性の欠如

第V欄 PCT規則 43 の 2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、

それを裏付けるための文献及び説明

第VI欄 ある種の引用文献

「 第VI欄 国際出願の不備

第四欄 国際出願に対する意見

2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 際予備審査機関がPCT規 66.1 の 2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさ ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。

この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か ら3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当 な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解書を作成した日 06.05.2005 名称及びあて先 3 P 3 1 1 7 特許庁審査官(権限のある職員) 日本国特許庁(ISA/JP) 小野田 達志 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 電話番号 03-3581-1101 内線 3364

	国際調査機関の見解書		国際出願番号	PCT/JP2005/005769	
第1欄 見解の基礎					
1. この見解書は、	「記に示	す場合を除くほか、国際出願の言語を基	ら礎として作成さ	れた。	
「この見解書は それは国際調	· —	語による翻訳文を基礎と かに提出されたPCT規則12.3及び23.1		ての言語である。	
2. この国際出願で開 以下に基づき見角		かつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌ 成した。	クレオチド又は	アミノ酸配列に関して、	
a. タイプ	Г	配列表			
	<u> </u>	配列表に関連するテーブル			
b. フォーマット	_	書面		-	
	_	コンピュータ読み取り可能な形式			
c. 提出時期	Γ.	出願時の国際出願に含まれる			
•	_	この国際出願と共にコンピュータ読み	メ取り可能な形式	により提出された	
	Γ	出願後に、調査のために、この国際調	間査機関に提出さ	れた	
		2列表に関連するテーブルを提出した場 出した配列と同一である旨、又は、出願			

国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2005/005769

それを裏付る文献及び説明			
見解			
新規性(N)	請求の範囲		
	請求の範囲	1-7	
進歩性(IS)	請求の範囲		有
	請求の範囲	. 1-7	<u>*************************************</u>
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-7	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明

文献 1:JP 2001-26771 A (株式会社フジミインコーポレーテッド) 2001.01.30, 特許請求の範囲,第5欄第29-50行,第10欄第5-25行,表1 & US 6248144 B1

請求の範囲 1-7 に係る発明は、国際調査報告で引用された文献 1 から新規性を有さない。請求の範囲 1-7 に記載された数値範囲内のかさ密度を有するヒュームドシリカを含んだ半導体研磨用組成物が、文献 1 の第 10 欄第 5-25 行,表 1 に開示されている。